

課題テーマ: 興味をもった世界の生活・文化について

テーマを決めて紹介しよう

普段の授業では教科担任が一方的にテーマを選んで授業をしています。みなもそれぞれ知りたいことがあるはず。そこで、個人でテーマを設定して調べてみましょう
＜具体的な方法＞

1. テーマを決定。

・ある地域の文化・気候・産業・時事問題など

2. 図書館やインターネットなどを利用して各自でプリント1枚にまとめる。

※イラストや写真・図を入れるなど工夫して、読みやすいものにして下さい。

3. まとめたプリントを自己評価する(下記の設問に答える)。

4. 教科担任に提出、確認。

5. 数人のプリントを選んで、授業中に紹介し、評価する。

6. 発表しなかったプリントについては、今後随時授業の最初に紹介する。

調べ学習を終えて…

◇アピールしたいこと・工夫したこと

・文章を理解しやすいように図(絵)で表したところ

・音の状況から今の状況へ移り変わる文章の流れ

1xと2点です

◇苦労したこと・もっと工夫するとよかったこと

・なかなか右記の資料を見つけることができませんでした。

・おもしろい文章が難しく、理解するのに時間がかかりましたこと(苦労したこと)

・紙の大きさが思ったより小さく、もう少し大きくしたいところまで

調べた記入しなかったです(工夫できなかった)

◇自分のまとめたプリントを自己評価すると＜1～5点＞

・興味をひくテーマ設定ができたか … 5点

・みやすいように工夫できたか(まとめ方) … 4点

・新たにテーマについて理解が深まったか … 3点

・総合評価(満足度) … 4点

テーマ

チリのイースター島～モアイ～

・ボリネシアの東端に浮かび、イリ本土から約3,700km離れた孤島が、イースター島です。その島で一番の謎がモアイという石像です。そのモアイ像と歴史との関わりを調べました。

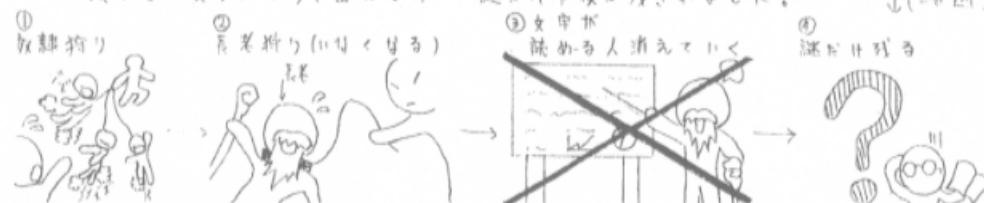


＜モアイ像と歴史＞

1. かつてイースター島には、未完成の400体を含め800体以上のモアイ像が存在しました。しかし、人口増加による食料不足から村同士の「モアイ像倒し戦争」が起こり、相手側の村を見守るモアイ像を倒し合いました。その結果、モアイ像の製造は止まり、すべてのモアイ像は目をつぶされ、うつ伏せに倒されたあげく、島は荒廃してしまいました。――↓(略図)



2. 1862年ごろのバレー船による奴隷狩りにより人口は激減。その当時の文章を読めた長老たちさえも奴隷として運ばれたため、この島の文字は誰にも読めない文字になり、島には多くの謎だけが後に残されました。――↓(略図)



結果、謎だけが残されたために、モアイ像をつくった民族も不明のままです。

その件に関しては多くの研究者たちが研究し、様々な説を発表しています。

＜説の例＞

・イースター島は、遠い昔に太平洋の中に沈んでしまったパシフィカ大陸の一部だった。

・イースター島の文化は、オセアニア・メラネシア諸島からきた。

など…



18世紀に初めてアミ^①アから
初められ、一時は所有する
球根の數で貝オカが主と
られた。今日では6000種
もの品種が栽培され、世
界中のバイヤーに輸出され
ている。

<キリスト教とイスラム教> ～パレスチナ問題をもとくわしく～

○キリスト教とイスラム教の共通点と相違点

共通点: ユダヤ教から派生している

相違点: イスラム教の方が規則に厳しい

聖地 エルサレム をめぐる対立

エルサレムはキリスト教にとってはイエスキリストの地
イスラム教にとってはムハンマドの昇天の地

※イスラム教の聖地とされている メッカ (サウジアラビア) は、
創始者 ムハンマド がイスラム教を始めたところ

○過去に起こった代表的な対立

1. 十字軍遠征 (1096～1270) ... キリスト世界とエルサレムと領土拡大をめぐらう

2. 第1次世界大戦 (1914～18) ※キリスト・イスラムの直接対決はないが
パレスチナ問題 の発端が生じる

3. 第1～4次中東戦争 (1948～73の間)

アラブ諸国 → パレスチナ (アラブ) VS イスラエル (ユダヤ)

4. イラクのクウェート侵襲 (1990.8) ... イラクのサダム・フセインが
クウェートを占領する

5. 湾岸戦争 (1991.1～2月) ... アメリカを中核とした多国軍が
イラクを攻撃

●礼拝のしかた

(ひるさちや「キリスト教とイスラム教」)



イスラム教の宗派

・ スンニ 派 ... イスラム教の多数派
サウジアラビア、イラク、クウェートなどに分布

・ シーア 派 ... イスラム教の少数派
イラン、イラク、レバノンなどに分布

イスラム原理主義 とは何か
イスラム教の基本、理想に戻ろう
という運動をすすめる人たちの考え

今回のアメリカのテロを起した人々
「イスラム原理主義者」

一般のイスラム教徒とは違って、極端に理想に走った考えをする人々

今回の米同時多発テロの背景

アフガニスタン侵襲 (1979～89)
アフガニスタン共産党政権に
反抗する「タリバン」に対して、米軍が攻撃
アメリカが支援

湾岸戦争 (1991～)
アメリカのイスラム世界への
介入が拡大

アフガニスタンの「タリバン」政権が「イスラム教」を支持
オサマ・ビン・ラディン (サウジ出身)
反ソ反米の立場をとることに ... アメリカに対するテロを支援

五行(ムスリムが実践すべきこと)

信仰告白 (シャハーダ)	「アッラーの他に神なし。ムハンマドはその使徒なり」と唱える
礼拝 (サラート)	1日5回メッカの方向に向かって礼拝する
齋戒 (ザカート)	義務化された施しのことで宗教税・救済税のこと。所有する財産と貯蓄に応じて課税率は決められている
断食 (サウム)	イスラム暦の9月(ラマダーン)の1か月間は、昼間に飲食をさける
巡礼 (ハッジ)	一生に一度メッカのカーバ神殿への巡礼を行う。正式な巡礼はイスラム暦12月(ズール・ヒジャ)の7日から10日にかけて行われる

イスラム法による禁忌(ハラム)

- ①左手は不浄の手で物の受け渡しには使わない
- ②豚肉や異教徒が殺した動物を食べることは禁止
- ③利子をとるのは禁止。銀行はあっても利子はない
- ④結婚に際して、商取引と同じく契約が必要である。契約式では離婚の際の慰謝料も決めておく
- ⑤女性は夫以外の男性に顔や肌を見せないようチャドルで隠す
- ⑥男性は平等に愛することができるのなら、同時に4人までの妻を持つことができる
- ⑦飲酒は禁止。見つければ首打ち40回。窃盗は手足の切断